

〔令和8年度 伊勢市水道事業会計予算の概要〕

本年度の水道事業は、安心・安全な給水サービスの向上を図り、効率的な維持管理を行うため、「水道事業ビジョン」に基づき、老朽管、加圧施設の更新及び安定給水を図るため県道館町通線ほか配水本管布設工事などを予定しています。また、災害に強いライフラインの整備として、水道管路の耐震化や緊急時バイパス管の布設工事などを行う予定です。

1. 業務の予定量

項 目	予 定 量
給 水 戸 数	58,021 戸
総 配 水 量	15,395 千m ³
一 日 平 均 配 水 量	42,178 m ³
主要な建設改良事業の概要	
1. 水源地施設更新事業	194,800 千円
2. 送配水管・施設新設及び更新事業	780,764 千円
3. 老朽管更新事業	842,663 千円
4. 加圧施設更新事業	37,000 千円

2. 経営状況の見通し

収益的収支では、収入 2,655,779 千円(税込)、支出 2,658,870 千円(税込)を予定しています。また、消費税を除いた純損失は 40,025 千円を予定しています。

資本的収支では、収入 856,860 千円(税込)、支出 2,350,262 千円(税込)を予定しています。収入が支出に対し不足する額 1,493,402 千円については、過年度分損益勘定留保資金等で補填する予定です。

[令和8年度予算]

収益的収入及び支出	
款・項	予定額 (千円)
第1款 水道事業収益	2,655,779
第1項 営業収益	1,985,892
第2項 営業外収益	669,887
第1款 水道事業費用	2,658,870
第1項 営業費用	2,526,468
第2項 営業外費用	122,402
第3項 予備費	10,000

資本的収入及び支出	
款・項	予定額（千円）
第1款 資本的収入	834,823
第1項 企業債	610,700
第2項 負担金	155,425
第3項 他会計補助金	23,360
第4項 出資金	26,600
第5項 補助金	18,738
第1款 資本的支出	2,289,260
第1項 建設改良費	1,875,442
第2項 償還金	413,818

3. 財政状態の見通し

令和8年度末における財政状態は、資産の部 30,438,684 千円、負債の部 12,669,565 千円、資本の部 17,769,119 千円を予定しています。

[予定貸借対照表]

単位：千円

借 方		貸 方	
固定資産	29,003,059	固定負債	6,079,995
有形固定資産	28,777,743	建設改良等企業債	5,667,269
無形固定資産	25,316	退職給付引当金	194,254
投資その他の資産	200,000	特別修繕引当金	218,472
流動資産	1,435,625	流動負債	1,148,115
現金預金	1,159,368	建設改良等企業債	433,784
未収金	208,551	未払金	687,696
貯蔵品	67,706	賞与・法定福利費 引当金	26,635
		繰延収益	5,441,455
		資本金	17,734,945
		剰余金	34,174
		資本剰余金	23,129
		利益剰余金	11,045
合 計	30,438,684	合 計	30,438,684

4. 一般会計繰入金

単位：千円

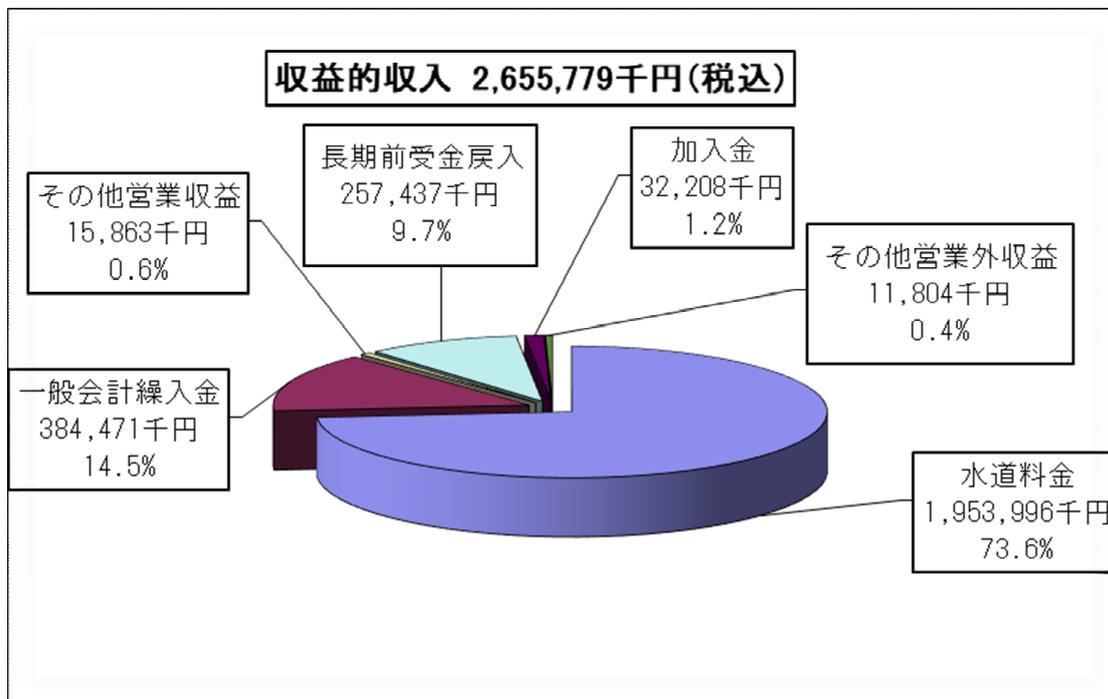
基準内繰入	103,472
基準外繰入	25,674
合 計	129,146

[水道事業の収支]

1. 収益的収支

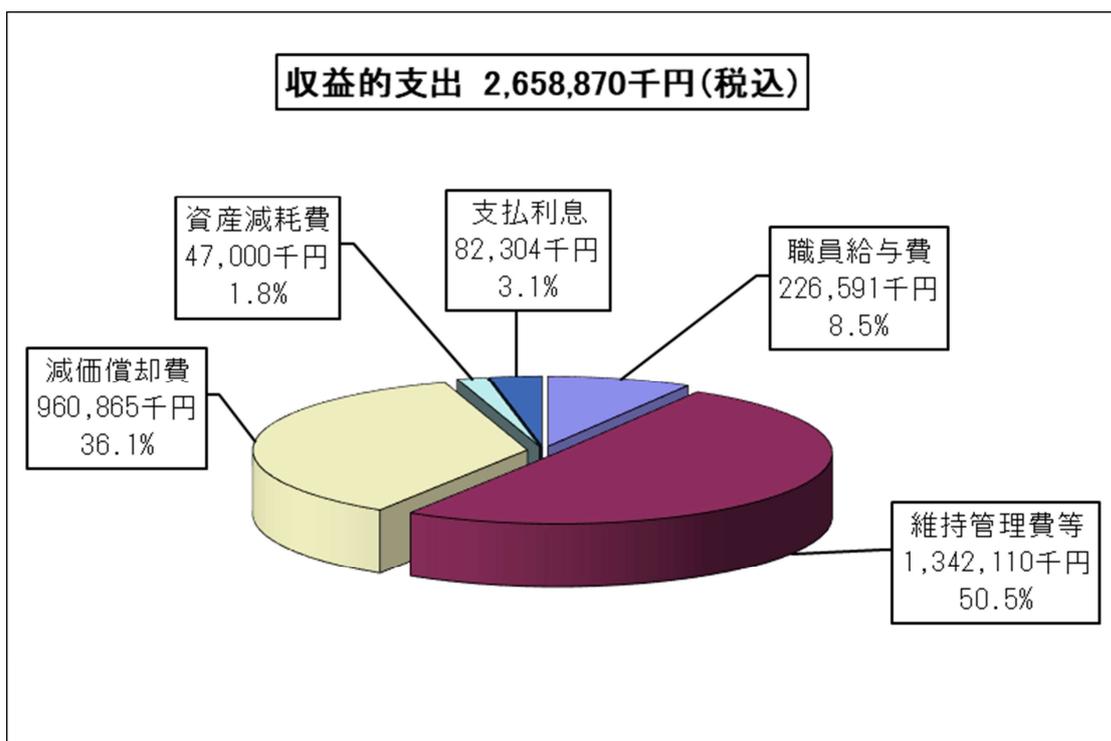
① 収益的収入

原水の取水や配水に係る施設の維持管理費等水道事業の経営に必要な経費(収益的支出)の財源。利用者に負担いただく水道料金や長期前受金戻入、加入金等で構成しています。



② 収益的支出

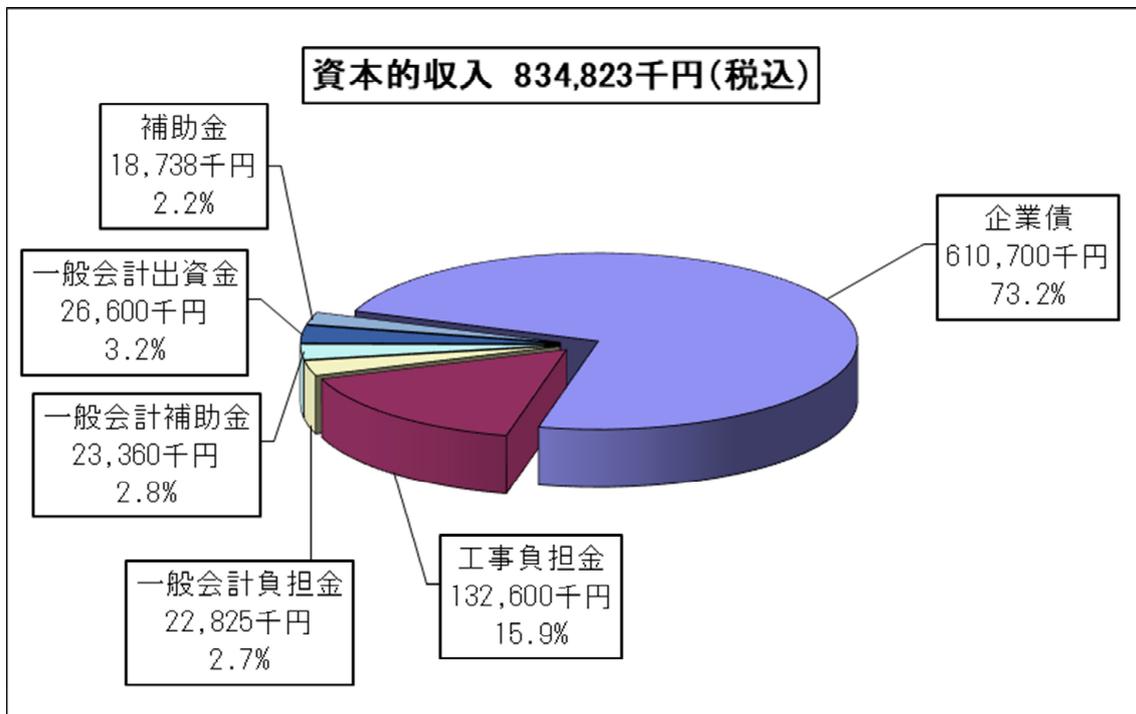
水道料金、加入金等(収益的収入)を財源として、水道事業を運営していくために必要な経費。原水の取水や配水に係る施設の維持管理費、職員給与費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

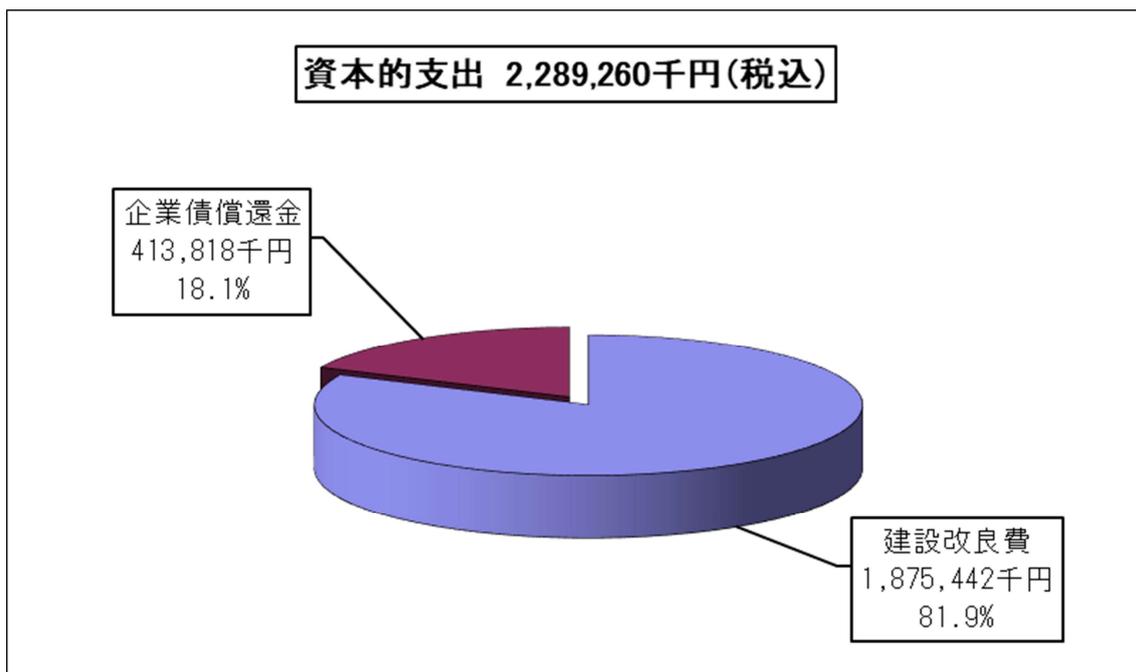
① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、工事負担金、一般会計繰入金等で構成しています。



② 資本的支出

企業債や工事負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金で構成しています。



水道事業

～水道事業ビジョン～

持続・安全

◆老朽管の更新（1,206,000千円）

- 老朽管更新事業
- 支障管敷設替事業

◆施設の更新（208,800千円）

- 水源地施設事業
- 加圧施設事業

◆水道施設の最適化（65,400千円）

- 送配水管敷設・敷設替事業
・県道館町通線ほか
配水本管布設工事

◆AI診断結果を活用した水道管路の漏水調査（5,500千円）

令和7年度に実施したAIを活用した管路劣化診断を踏まえ、漏水調査を実施する。



（水道管の敷設替え）

強靱

◆水道管路の耐震化（350,100千円）

※うち令和8年3月補正190,400千円

- 基幹管路敷設替事業（補助事業）

◆緊急時バイパス管整備（45,000千円）

◆水道施設の耐水化（23,000千円）

◆水道施設の耐震化（15,000千円）



水道料金の基本料金の無料化（366,000千円）

物価高の影響が続くなか、市民生活を支援するため、水道基本料金の無料化を行う。

- ・6か月分（R8.4～R8.9請求分）